

物流の取り組み

基本的な考え方

当社は、成長戦略の実現のため、モノづくり基盤の一つである物流の改善を進めていきます。物流およびサプライチェーンの持続可能性をミッションに掲げ、「労働力不足」「ムダ・ムラ・ムリ」を解消し、さらなる競争力強化とCN推進を図っていきます。

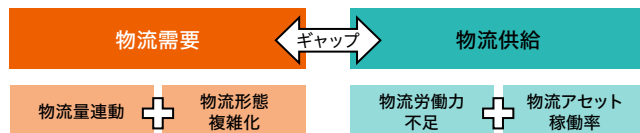
サステナブル物流

お客様のニーズの多様化による運送方法の小口化で、ルートや配送単位が複雑化しています。物流の供給能力は、人による労働力とトラックや倉庫などの能力で、提供可能なサービスの上限量が決まります。上限次第では製造効率にも影響を及ぼし、大きく変化する需給に物流が耐え切れず、危機的な状態になると事業継続が脅かされかねません。

現状、お客様のニーズに合わせてカスタマイズを重ねることで、人に依存した非効率な物流工程設計や作業になっている部分があります。このようなムダ・ムラ・ムリによる物流アセットの非効率な使い方は、労働力だけでなく物流におけるCO₂排出量を増やしている原因にもなっています。

配送手配や倉庫作業の自動化によって、労働力不足を補い、効率的な物流工程設計への変更によりCN推進を図ることで持続可能性を高めた「サステナブル物流」を実現します。

● 現状の物流課題

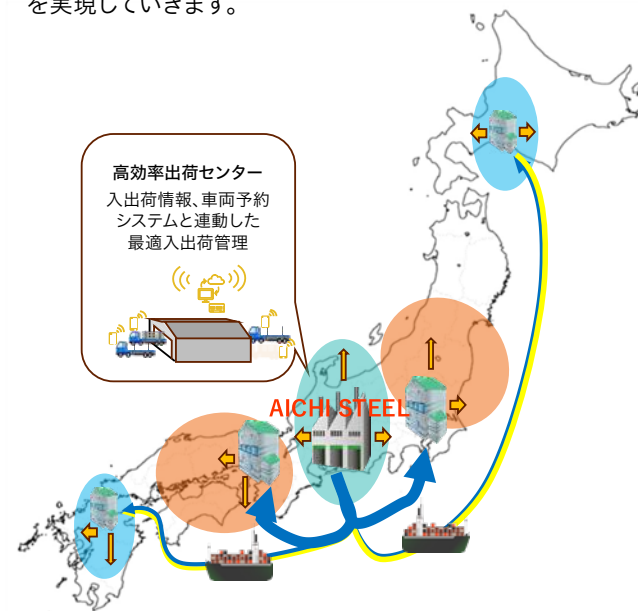


ドライバーと環境にやさしい物流改革

物流の2024年問題やドライバーの人手不足解消および「環境に一番やさしい鉄屋」としてCO₂排出量を削減し社会に貢献するため、在庫のバラつきや積載量不足による配車のムダをなくし、運搬効率の改善25%以上を目指します。

運搬効率改善に向けては、

- 1.ムダ・ムラ・ムリを徹底排除した高効率物流の構築
- 2.荷待ちを発生させない高効率出荷センターの整備を実現していきます。



近距離エリア	フル積載での高効率輸送
中距離エリア	最適配置をしたデポへの集中配送 モーダルシフト
遠距離エリア	モーダルシフト 他社との共同配送の拡大

物流改革シナリオ(特殊鋼事業)

輸送単体ではなく、生産プロセスから見直し、工場レイアウト変更や構内出荷センター化も視野に入れて構内外の物流全体の改革を検討していきます。まずは現有工程の合理化から始め、新プロセスによる製造改革、最終的に物流改革へと段階的に進め、コスト・環境負荷の削減目標を設定し、高効率輸送を目指します。

● 特殊鋼事業の成長戦略と物流改革シナリオ

